

農業農村整備事業業務等共通仕様書の新旧対照表

改定後（令和5年4月版）	改定前（令和3年2月版）
<p style="text-align: center;">農業農村整備事業地質・土質調査業務共通仕様書</p> <p style="text-align: center;"><u>令和5年4月</u></p> <p style="text-align: center;">長崎県農林部農村整備課</p> <p>農業農村整備事業地質・土質調査業務共通仕様書 目次 第1章 総則 ～ 第12章 岩石試験（第12-1条～2条）〔略〕</p> <p style="text-align: center;">農業農村整備事業地質・土質調査業務共通仕様書</p> <p>第1章 総則 ～ 第2章 地形、地質踏査 〔略〕</p> <p>第3章 ボーリング調査</p> <p>第3-1条 目的 ～ 第3-2条 土質・岩の分類 〔略〕</p> <p>第3-3条 調査方法 1～16 〔略〕 17 試料を採取するオールコアボーリング※1の場合は、詳細な地質状況の把握が行えるよう、観察に供するコアを連続的に採取することとする。試料を採取しない場合はノンコアボーリング※2を行うこととする。 ノンコアボーリング又はオールコアボーリングの適用は設計図書による。 ※1 オールコアボーリングとは、観察に供するコアを連続的に採取するボーリングで、試料箱（コア箱）に収め、採取したコアを連続的に確認し、詳細な地質状況の把握が可能なものをいう。 ※2 ノンコアボーリングとは、コアを採取しないボーリングで、標準貫入試験及びサンプリング（採取試料の土質試験）等の併用による地質状況の把握が可能なものをいう。</p> <p>第3-4条 オーガーボーリング オーガーボーリングは、比較的浅い土の地盤で連続的に代表的な試料を採取して地盤の成層状態の把握や土質の分類を行い、かつ、地下水位を確認するために行うことを目的とする。 2～7 〔略〕</p> <p>第3-5条 調査日報 ～ 第3-9条 その他 〔略〕</p> <p>第4章 ボーリング孔を利用した物理検層及び原位置試験 ～ 第8章 物理探査 〔略〕</p>	<p style="text-align: center;">農業農村整備事業土質・地質調査業務共通仕様書</p> <p style="text-align: center;"><u>令和3年2月</u></p> <p style="text-align: center;">長崎県農林部農村整備課</p> <p>農業農村整備事業土質・地質調査業務共通仕様書 目次 第1章 総則 ～ 第12章 岩石試験（第12-1条～2条）〔略〕</p> <p style="text-align: center;">農業農村整備事業地質・土質調査業務共通仕様書</p> <p>第1章 総則 ～ 第2章 地形、地質踏査 〔略〕</p> <p>第3章 ボーリング調査</p> <p>第3-1条 目的 ～ 第3-2条 土質・岩の分類 〔略〕</p> <p>第3-3条 調査方法 1～16 〔略〕 17 試料を採取するオールコアボーリング※1の場合は、詳細な地質状況の把握が行えるよう、観察に供するコアを連続的に採取することとする。試料を採取しない場合はノンコアボーリング※2を行うこととする。 ノンコアボーリング又はオールコアボーリングの適用は設計図書による。 ※1 オールコアボーリングとは、観察に供するコアを連続的に採取するボーリングで、試料箱（コア箱）に納め、採取したコアを連続的に確認し、詳細な地質状況の把握が可能なものをいう。 ※2 ノンコアボーリングとは、コアを採取しないボーリングで、標準貫入試験及びサンプリング（採取資料の土質試験）等の併用による地質状況の把握が可能なものをいう。</p> <p>第3-4条 オーガーボーリング オーガーボーリングは、比較的浅い土の地盤で連続的に代表的な試料を採取して地盤の成層状態の把握や土質の分類を行ない、かつ、地下水位を確認するために行うことを目的とする。 2～7 〔略〕</p> <p>第3-5条 調査日報 ～ 第3-9条 その他 〔略〕</p> <p>第4章 ボーリング孔を利用した物理検層及び原位置試験 ～ 第8章 物理探査 〔略〕</p>

農業農村整備事業業務等共通仕様書の新旧対照表

改定後（令和5年4月版）	改定前（令和3年2月版）
<p>第9章 試堀坑</p> <p>第9-1条 目的 ～ 第9-3条 試験等 〔略〕</p> <p>第9-4条 成果物 成果物は、次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地質展開図 (2) 地質の状況（種類、走向、傾斜、岩級区分、掘削の難易、地下水位、礫混入状況、風化の程度、岩盤亀裂状況、湧水量等） (3) 地すべり調査に当たっては、地すべり面、粘土の厚さ、含水の状況、擦痕の有無、地すべり面の方向等 (4) 試験及び写真撮影位置を図示した図面 (5) 作業経過及び坑内のカラー写真等 (6) その他 <p>第10章 試掘井、揚水試験 ～ 第12章 岩石試験 〔略〕</p>	<p>第9章 試堀坑</p> <p>第9-1条 目的 ～ 第9-3条 試験等 〔略〕</p> <p>第9-4条 成果物 成果物は、次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地質展開図 (2) 地質の状況（種類、走向、傾斜、岩級区分、掘削の難易、地下水位、礫混入状況、風化の程度、岩盤亀裂状況、湧水量等） (3) 地すべり調査に当たっては、地すべり面、粘土の厚さ、含水の状況、察痕の有無、地すべり面の方向等 (4) 試験及び写真撮影位置を図示した図面 (5) 作業経過及び坑内のカラー写真等 (6) その他 <p>第10章 試掘井、揚水試験 ～ 第12章 岩石試験 〔略〕</p>